

みずほCustomer Desk Report 2024/02/15 号 (As of 2024/02/14)

金融市場部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】				公示仲値	150.67
	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	GBP/USD	AUD/USD
TKY 9:00AM	150.74	1.0707	161.36	1.2590	0.6451
SYD-NY High	150.79	1.0734	161.56	1.2611	0.6495
SYD-NY Low	150.35	1.0695	160.99	1.2536	0.6447
NY 5:00 PM	150.61	1.0729	161.57	1.2565	0.6492
	終値	(前日比)		終値	(前日比)
NY DOW	38,424.27	151.52	日本2年債	0.1400%	0.0200%
NASDAQ	15,859.15	203.55	日本10年債	0.7500%	0.0300%
S&P	5,000.62	47.45	米国2年債	4.5789%	▲0.0895%
日経平均	37,703.32	▲260.65	米国5年債	4.2422%	▲0.0870%
TOPIX	2,584.59	▲27.44	米国10年債	4.2603%	▲0.0639%
シカゴ日経先物	38,115.00	415.00	独10年債	2.3470%	▲0.0435%
ロンドンFT	7,568.40	56.12	英10年債	4.0420%	▲0.1070%
DAX	16,945.48	64.65	豪10年債	4.2850%	0.0870%
ハンセン指数	15,879.38	132.80	USDJPY 1M Vol	7.86%	▲0.52%
上海総合	-	-	USDJPY 3M Vol	9.14%	▲0.18%
NY金	2,004.30	▲2.90	USDJPY 6M Vol	9.35%	▲0.09%
WTI	76.64	▲1.23	USDJPY 1M 25RR	▲0.63%	Yen Call Over
CRB指数	270.19	▲2.86	EURJPY 3M Vol	8.57%	▲0.11%
ドルインデックス	104.72	▲0.24	EURJPY 6M Vol	9.05%	▲0.01%

東京	東京時間のドル円は150.74レベルでオープン。前日からのドル高円安の流れを受け、神田財務官が朝方の為替相場について「最近の動きは急速である」などと発言。こうしたなか、一日を通して見れば、緩やかな円買いドル売りの展開となり、150.52レベルで欧州時間に渡った。
ロンドン	ロンドン市場のドル円は、150.52レベルでオープン。材料難で小動き。米株先物が昨日の下落から若干戻す中で欧州株も堅調。やや円安の150.61レベルでNYに渡った。ポンドドルは、1.2607レベルでオープン。英1月消費者物価指数が予想を下回ったことでポンドは一時1.2536まで下落。少し戻して1.2554レベルでNYに渡った。
ニューヨーク	海外市場のドル円は150円台後半でスタート。米金利の低下や、神田財務官の円安牽制発言が相まって、150.30付近まで下落。その後は米長期金利が戻す展開に買い戻しが入り、150.61レベルでNYオープン。午前中は米12月PPIが下方修正されたことや、グールズビー・シカゴ連銀総裁の「インフレが前年比で2%に達するのを待ってから利下げを開始することは支持しない」等との発言を受け、米金利は再度低下。午後には150.35まで値を下げるも一巡後は150.60付近まで戻す。終盤にはバー・FRB副議長が「利下げの前にもっと良いインフレデータ必要」との見方を示すも、ドル円は反応薄。その後、150.61レベルでクローズ。一方、海外市場のユーロドルは1.07台前半でスタート。じり安での推移が続き、1.07台を割り込み、1.0695まで下落する。その後に発表されたユーロ圏第4四半期GDP(改定値)は予想通りの結果となり、景気後退を回避したことから小幅反発し、1.0706レベルでNYオープン。午前中は米金利の低下を受け、ユーロドルは底堅い推移が続き、1.0734まで反発。午後はナゲル・独連銀総裁の「インフレは正しい方向に向かっているとはいえ、データはわれわれが望むところにはない」との発言が支えとなり、高値圏の1.0730付近での値動きが続き、1.0729レベルでクローズ。

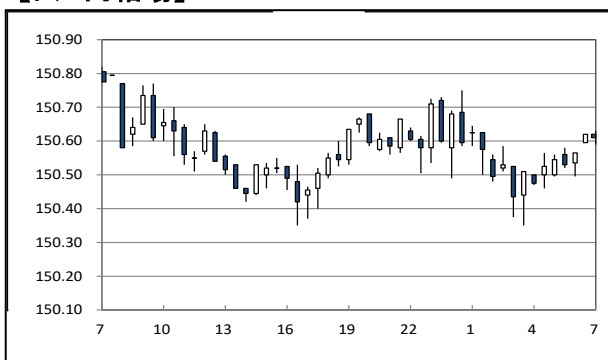
【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
2月14日	16:00	英 CPI(前月比/前年比)	1月	-0.6%/4.0%
	16:00	英 CPIコア(前年比)	1月	5.1%
	19:00	欧 GDP(前期比/前年比)・速報	4Q	0.0%/0.1%

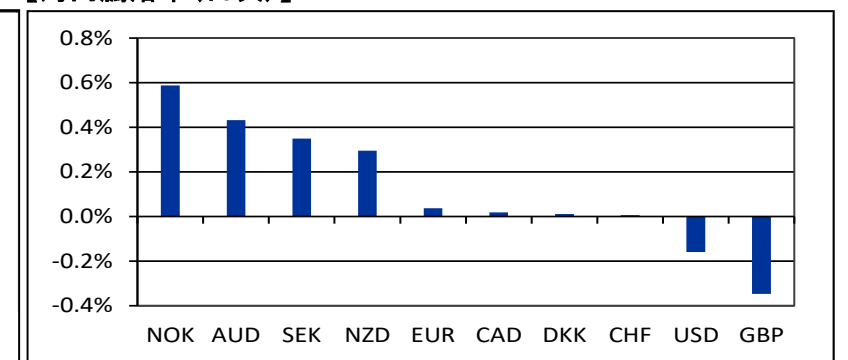
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
2月15日	08:50	日 GDP(年率/季調済/前期比)・速報	4Q	1.1%
	08:50	日 GDP(季調済/前期比)・速報	4Q	0.2%
	08:50	日 GDPデフレーター(前年比)・速報	4Q	4.0%
	16:00	英 鉱工業生産(前月比/前年比)	12月	-0.1%/-0.4%
	16:00	英 GDP(前期比/前年比)・速報	4Q	-0.1%/0.1%
	22:30	米 NY連銀製造業景気指数	2月	-12.5
	22:30	米 小売売上高速報(前月比)	1月	-0.2%
	22:30	米 小売売上高(除自動車/前月比)	1月	0.2%
	22:30	米 フィラデルフィア連銀景況	2月	-8.1
	22:30	米 新規失業保険申請件数	10-Feb	220k
	23:15	米 鉱工業生産(前月比)	1月	0.2%

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	150.00-151.50	1.0675-1.0850	160.70-162.20

【マーケット・インプレッション】

昨日のドル円は、東京時間に神田財務官による為替相場に対する発言もあったが終日狭いレンジ内での推移となった。海外時間では、シカゴ連銀のグールズビー総裁によるハト派発言も反応薄く、150円台半ばでクローズ。本日のドル円は引き続き150円台半ばでのみ合いを予想する。米国時間に米1月小売売上高・米1月輸入物価指数等の複数の経済指標の発表が予定されており、米国時間までは方向感が出ない展開となることを想定。一方で、直前に発表された米経済指標の結果が事前予想を上回る強い結果となっていることから、発表直後に151円を上抜ける展開にも留意が必要。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償のみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当: 部坂・西